

萩町内史蹟地圖



山口縣萩町
株式會社 長周銀行萩支店

萩案内記

(裏面に萩町内史蹟地圖あり)

萩町は慶長九年輝元公入國以來二百六十有餘年間毛利氏累代の城下として防長二州統治の首腦地なりしが敬親公治を現在の山口市に移されて以來幾變遷を経て今日に至れり。

◆交通機關 山陽線鐵道に依る場合……厚狹驛にて美禰線に乗換萩に至る、△小部驛下車小部萩間、自動車△山口線鐵道に依る場合……△長門岐驛にて下車天下の奇勝長門峽を探勝し渦ヶ原より萩町まで自動車又は渦ヶ原より高瀬まで自動車、高瀬より扁舟により阿武川下りを爲し史蹟の萩を訪れるも亦趣味深し(末項行程時間參看)

◆萩城趾 指月山の麓に在り元吉見氏の別墅なりしが慶長九年輝元公之を修築せられ五重の天主閣、二十餘の櫓、内濠、外濠等當時要害第一の稱ありしが維新後城廓の悉くを廢毀し僅に城塞の一部を残すのみ。

◆志都岐公園 城趾一帶の芝生に點綴する櫻樹は特に春花爛漫の候屈指の遊覽地たり東園は舊藩主の別邸跡なり。

◆菊ヶ濱 指月公園の東より鶴江に續く白砂青松の一帶なり遙かに笠山及大小の島々を眺望して其の景頗る佳なり背後に當る砂丘一帶は維新前に於ける外敵防禦の臺場跡なり。

◆天樹院趾 堀内大下馬に在りて萩地臨濟三院の一なり寛永年間輝元公の菩提所となる爾後三度炎上今は墳墓のみ存し永へに英魂を留めぬ。

◆明倫館趾 享保三年藩主吉元公之を堀内に創建せらる、後敬親公に至り嘉永二年此の地に改築さる其の敷地一萬五千八百八十四坪に涉り規模宏壯を極めたるものなりしが維新後廢損し就中講堂は舊山口縣會議事堂の築材となり聖廟は曹洞宗海潮寺の本堂に遷され正門は萩別院の本門として遷し今は演武場の一棟と水練池及二基の石碑並に木主を存するのみ現今の萩商業學校、明倫小學校及萩區裁判所の敷地これなり。

◆本派本願寺別院 西田町に在り真宗の大伽藍にして元和年中山口市より此の地に移せしもの其の規模雄大輪奐宏麗萩第一の巨刹なり。

◆弘法寺 土原の浮島に在り大同年中弘法大師の創建になると傳ふ空海上人歸朝の際此の島に風浪を避けたりと、境内古松多くして風致佳良又河申より鏡泉湧出し浴場を設けて療養に資せり俗に弘法寺温泉と稱して其の名高し浮島辨財天舊振武隊の墓碑 前原一誠佐世一清の墓碑亦此の境内に在り。

◆南園御殿 敬親公の成人されし所にして今尙其の幾部を存して其の當時を偲ばしむ現今の縣立萩高等女學校建物の一部之れなり。

◆大照院 櫻江に在り南禪寺派臨濟の巨刹なり明曆二年秀就公の塋域と定め爾來毛利氏累代の菩提所となる門内頗ぶる森嚴堂宇壯巨なり寺後の山上には末寺の觀音あり國寶赤童子を藏す眺望頗る佳なり。

◆涙松 椿區の内大屋と千法師との間の地點を云ふ往時萩に往來する者此處を以て萩と別れを惜みし所現今は松は枯れ小碑を建て、昔を偲ぶ又吉田松陰先生の詠中の「歸らじと思ひ定めし旅なれば一しほぬる、涙松かな」は此の所に於て物せられしなり。

◆萩焼 萩焼に二種あり一は高麗焼と稱し露元は朝鮮人李敬を祖とし代々萩松本に住し坂高麗左衛門と稱して十世に及ぶ一は古萩と稱し大和國三輪の里源左衛門休雪と云へる者來り創始せるものにして今は九世雪堂に至る共に風流雅致なるを以て名あり其の他泉流燒小畑燒等あり。

◆南明寺 椿區の内南明寺山の山腹に在り秩地唯一の天台宗にして大同元年の創建なり國寶聖觀音、千手觀音の二体及大内家明應、永正時代の制札を藏し眺望絶佳にして萩町を一瞬の裡に收め庭前に彼岸櫻あり南明寺の糸櫻と稱して花時參拜者多し。

◆松陰神社 椿區の内松本に在り維新革命の先覺者吉田松陰先生を祀る境内には先生が門弟と共に書を講じつゝ踏まれたりと云ふ米春日あり又松下村塾は先生の門弟等を教導せられたる塾舎にして其の當時の様を存す、又社頭の左側に松陰先生の遺物を藏めたる寶物庫あり其の他松陰先生幽因の宅皆境内に在り。

◆花月樓 松本橋東詰に在り故品川子爵の別荘なり。

◆東光寺 椿區の内松本に在り黃藥宗の禪林にして七堂伽藍悉く備はり壯麗の名刹なりしも維新後荒廢して今は其の一部を残すのみ本寺は大照院と共に毛利氏累代の菩提所にして吉就公外四公の墓所並に元治甲子殉難士の墓碑あり。

◆反射爐 椿區の内小畑に在り毛利氏軍艦建造の際に於ける器械を鑄造し又軍刀を製作せる鑄造工場の一部分なり。

◆越ヶ濱 菊ヶ濱の對岸笠山半島に連る漁浦にして南に夕潮北に嫁泣の良港を控へ風光頗る愛すべし、其の西端に名越屋山あり形によりて笠山と稱す死火山にして頂上に噴火あり四時遊覽者多し越ヶ濱の植物に富み展望亦開豁爽快なり、明神池は廣袤三千五百餘坪の鹹水池にして海魚群を爲す元藩主遊樂の地にして所々に噴火口を存す山中寒熱越ヶ濱の途中に海面の一部を劃したる人工水族館あり各種の魚介を飼養し釣魚遊覽に適す

◆萩八景 今を去る二百餘年前吉就公家臣山田原欽、安部春貞、雲谷等瑞等に令し支那の瀟湘に倣ひ萩城附近に於ける下記八ヶ所の勝地を選ばしむ之を八景と名づく。

一、倉江の歸帆(西の濱の對岸なり) 二、玉江の秋月(橋本川の下流なり) 三、櫻江の暮雪(河添の對岸なり) 四、小松江の晚鏡(大照院附近なり) 五、上津江の晴嵐(沖原の上流なり) 六、中津江の夜雨(萩東方龍藏寺附近なり) 七、下津江の落雁(弘法寺の對岸なり) 八、鶴江の夕照(濱崎の對岸なり)

◆維新前後先賢名士の史蹟 ▲萩區一中央部 木戸孝元、青木周船、青木研藏、青木周藏、高杉晋作、三浦梧樓、杉孫七郎、近藤芳樹、前田孫右門(二東部 白根專一、奥平謙輔、長井雅樂、曾根荒助、野村靖、入江九一、周布政之助、稻崎彌八郎、山縣周南、大和國之助、前原一誠三西部 浦柳負、寺島忠三郎、毛利登人、宍戸左馬之助、久坂義助、久坂玄機、村田清風、竹内庄兵衛、佐久間佐兵衛、有地品之允、國司信濃、福原元備、益田右衛門介、清水清太郎、山縣大華(四南部 桂太郎、山縣有朋、山田宇右衛門、杉山松介、鳥尾小彌太、廣澤兵助、山田亦介、宮城彦助、五北部 土屋矢之助、金子重助、岡村熊彦、中島治平 ▲椿區 品川彌次郎、來島良藏、林友幸、松浦松洞、吉田稔磨、伊藤博文、玉木文之進、宍戸躰、吉田松陰、山田顯義、松島剛藏、梶取素彦 ▲椿區 河上彌一郎、御堀耕助 ▲山田區 中村九郎、時山直八

◆萩附近の名勝地 北に須佐灣東に長門峽南に秋芳洞西に青海島等の名勝地及天然記念物を存す何れも汽車又は自動車の便あり。

◆萩の史蹟に關する圖書 萩の史實を詳悉せるもの數種あり町内の書店にて販賣す。

◆旅館宿泊料 團体(拾人以上) 一泊二飯壹圓八拾錢より二等同壹圓拾錢より 但し學生及見學團体に對し特に割引を爲す

◆其の他非團體者 一泊二飯貳圓より二等同壹圓八拾錢より

◆自動車賃 町内史蹟廻り五人乗壹臺三時間以内金參圓、三時間以上に及ぶときは増賃金を要す。

◆行程所要時間

△山口市より自動車にて萩町まで二時三十分間 (貳圓貳拾錢) △萩町より自動車にて須佐驛まで二時間 (貳圓) △長門峽を経て萩町に來るもの △長門峽渦ヶ原より自動車にて萩町まで二時間 (壹圓七拾錢) △高瀬より川舟にて川上村筏場まで一時三十分間 (舟一般參圓) △高瀬より川舟にて萩町まで四時間 (舟一般五圓) △筏場より自動車にて萩町まで三十分間 (六拾錢) △萩町より秋芳洞及青海島に至るもの △萩町より自動車にて秋芳洞まで四十五分間 (自動車賃一圓) △萩町より汽車にて正明市驛まで五十分間正明市驛より自動車にて仙崎町まで十分間 △萩町より汽車にて美禰吉則驛まで一時五十八分間吉則より自動車にて秋芳洞まで四十五分間 (自動車賃一圓)

◆備考 萩の史蹟を訪れらるる方は萩町役場 (電話番號二三四番、六九番) に其の旨を申込まれば出來得る限り便宜を與ふることとせり。

昭和五年四月

山口縣萩町役場